

2025年度広島大学新任教員研修プログラム実施予定科目一覧

【修了要件】

プログラム対象期間（採用日から3年）内に「広島大学新任教員研修プログラム科目一覧」に掲げる以下（1）及び（2）の科目を受講した場合にプログラム修了となります。

- （1）必修科目の全て（必修科目1及び必修科目2）
 ◇必修科目1 新採用教職員研修、新任教員スタートアップ研修
 ◇必修科目2 大学教員基礎（教育）、学生支援教職員研修会、大学教員基礎（研究）
 （2）選択必修科目から2科目以上（※いずれの研修区分でも選択可能）

研修区分	知識内容	選択区分	研修科目名	時間数(H)	コンピテンシー	研修の概要・目的	講師	開催時期	主催・担当部署等	備考
共通	1-1-1 1-1-2 1-2-1	必修1	新採用教職員研修	2.5	MC1 MC2	本学の理念・目標など、本学の全構成員が知っておくべき大学運営の基礎となる事項について理解するとともに、職務に必要な基本的知識を習得することを目的とする。	学長、理事、副学長他	①4月 ②10月 ※動画の場合は通年受講可能	人材育成推進本部FD委員会（財務・総務室人事部人事G）	開催日に参加できない場合には、当日の動画を視聴の上、レポートを提出し、内容が認められれば、受講したものと取り扱う。
	1-1-2 2-1-1 2-1-2 2-2-4 3-1-1 3-1-2 3-2-2 3-3-2		新任教員スタートアップ研修	4.5	MC1 MC2 EC1 EC2 EC3 RC1 RC2	新任教員が職務遂行上求められる必須知識を習得し、広島大学における教育・研究・管理運営を円滑にスタートアップさせることを目的とする。	FD委員会委員 他	4月 ※動画の場合は通年受講可能	人材育成推進本部FD委員会（財務・総務室人事部人事G）	開催日に参加できない場合には、当日の動画を視聴の上、レポートを提出し、内容が認められれば、受講したものと取り扱う。
MCD	1-1-1	選択必修	高等教育公開セミナー	4	MC2	高等教育をめぐる最新の状況に関する講義を聴講することを通して、大学の指導的立場の大学教職員として大学を広い視野から俯瞰するための知識や技能を身につけてもらう。	高等教育研究開発センター教員等	未定	高等教育研究開発センター	IDC中四国セミナー・研究員集会（主催：高等教育研究開発センター）、公開研究会（主催：高等教育研究開発センター）を同科目としてみなす場合がある。
	1-2-1		リスクマネジメント研修	1	MC2	大学現場で発生する様々な事故・事件等のトラブルや自然災害の発生に際し、初期対応の基本や大学教職員としてとるべき行動のあり方を学び、リスク対応スキルやリスクマネジメント能力の向上を図る。	外部講師、財務・総務室担当職員	未定	財務・総務室財務・総務部総務G	
	1-2-1		ハラスメント研修会	1	MC2	高等教育機関におけるハラスメント（セクハラ、アカハラ、パワハラ）問題について理解を深め、本学におけるハラスメント行為の防止を図る。	ハラスメント相談室教員等	1月	ハラスメント相談室（財務・総務室人事部制度企画G）	各部署等で実施される研修（実施時間1時間以上）を同科目としてみなす場合がある。
	1-2-1		男女共同参画とダイバーシティ推進	1.5	MC2	男女共同参画及びダイバーシティ推進の社会的意義や目的を理解し、各種施策や取組の現状、今後の課題等について考察する。	外部講師	4月	男女共同参画推進室	男女共同参画セミナー「ジェンダーと労働」の後半が「男女共同参画とダイバーシティ推進」に該当。
ECD	2-1-1 2-1-2 2-2-1	必修2	大学教員基礎（教育）	3	EC1 EC2 EC3	講義とグループワークを通して、本学の学部及び大学院教育（学部：教養教育科目と到達目標型教育プログラムHi PROSPECTS [®] 、大学院：大学院共通科目と学位プログラム）と多様な教育方法の意義と課題を理解することを目指す。	本学教員	①8月 ②9月	ECD部会	事前に動画を視聴するとともにプログラム詳述書を読んでおく。研修当日はそれらをベースとしたグループワークをオンラインで行う。
	2-1-4		学生支援教職員研修会	3	EC3	学生支援に関する様々なテーマ（学生の規範意識向上、学生のメンタルヘルス、留学生が直面する課題など）で研修を提供し、参加教職員が学生支援のあり方について考える。	本学教職員	9月～10月	学生生活委員会	期間内に動画を視聴後、レポートを提出し、内容が認められることで受講を認める。
	2-1-1	選択必修	マイクロティーチング～模擬授業体験～	4	EC1	マイクロティーチングの経験を通じて、自身の担当授業内容を教育プログラムの目標に沿って設定し、その授業を適切に展開する能力を身につける機会を提供する。	本学教員	9月	ECD部会	対面開催
	2-1-2		教養教育授業方法研修会	1～3	EC2	教養教育科目を担当する教員の授業の紹介や授業参観を通じて、授業運営の基本的な方法を理解する。授業を進める上での工夫や課題等について意見交換を行い、出席者の授業改善に役立てる。	教養教育担当教員	①前期7月頃 ②後期11月頃	教育本部	対面型と同時双方向型を組み合わせたハイフレックス方式で実施
	2-1-3		高大接続研修会	1.5	EC2	近年の初中等、高校教育や大学入試制度の状況及び本学における入試実施状況並びに入学者の高校及び大学での学習状況等について講義を行い、新任教員の今後の教育活動に役立てる。	高大接続・入学センター教員	9月	高大接続・入学センター	広大moodle上で研修動画を配信
	2-1-4		チューター研修会	3	EC3	学生の成績評価、学習相談および生活支援等、チューター業務について理解を深めることを目的とする。	本学教員	3月	学生生活委員会	オンデマンドによる動画視聴
	1-2-1 2-1-4		アクセシビリティ研修会	3	MC2 EC3	ダイバーシティ（多様性）とアクセシビリティに対する理解を深め、多様な文脈でアクセシビリティについて考える力を育むことを目的として、障害のある学生が直面する社会的障壁の所在と合理的配慮、支援技術等に関する演習形式の研修会等を行う。	アクセシビリティセンター教員	2月下旬	アクセシビリティセンター	同時双方向研修（Teams）で実施
	2-2-1 2-2-4		アクティブラーニングを促す授業方法研修会	1.5～6.5	EC2	学生の主体的な学びを促進するために有効な授業方法（ICT活用等）を知り、授業方法の工夫改善に役立てることを目的とする。	本学教員、外部講師	11月	ECD部会	オンデマンド
	2-2-1		授業参観	3	EC2	授業を参観あるいは公開し、質の高い授業を展開できるよう、事前・事後研究会を開催する。研究会において、授業を進める上での工夫や課題等について意見交換を行い、授業改善に役立ててもらう。	本学教員	随時	ECD部会	対面開催
	2-2-3		TAと協働する授業の設計・運営方法	1.5	EC2	TAとともに授業運営をするために、教員は、授業の設計と運営においてTAと何を共有し、どう組み込んでいくのか、TAに対してどう指導していくべきなのか、について考える。	本学教員	3月中旬	ECD部会	オンライン開催
	1-2-1 2-1-4		教育・学生支援における多様性、公正性、包摂性の理解	3	EC2	学生の学びを保障するために、教員には、異なる文化的社会的背景、障がい、性の多様性等に配慮することが求められる。その具体的な進め方をケースを通じて理解する。	本学教員	2月下旬	ECD部会	対面開催

研修区分	知識内容	選択区分	研修科目名	時間数(H)	コンピューター	研修の概要・目的	講師	開催時期	主催・担当部署等	備考
RCD	3-1-1 3-1-2 3-2-1 3-2-2 3-3-1 3-3-2	必修2	大学教員基礎（研究）	1.5	RC1 RC2	本学が掲げる研究力に関する理念・目的を踏まえて、研究支援体制や研究の管理運営、社会への展開など本学の教員として必要な知識を理解する。	本学教員	通年	未来共創科学研究本部	動画を視聴後、レポートを提出することで受講を認める。
	3-1-1 3-1-2	選択必修	研究力強化概論	1.5	RC1	研究力強化に向けた国の方針や動向、我が国の研究力の現状と課題について理解する。	外部講師、本学教員	通年	未来共創科学研究本部	動画を視聴後、レポートを提出することで受講を認める。
	3-2-1		環境安全講習	1.5	RC1	事故・違反なく研究を遂行するとともに、本学の環境管理、安全管理を理解・実践するための講習。	環境安全センター	通年	環境安全センター	Moodle上で動画を視聴後、確認テストに合格し、合格証を環境安全センターに提出することで受講を認める。
	3-2-1		動物実験講習会	1	RC1	動物実験に関する法律やガイドライン等を学び、安全管理だけでなく倫理的に適切で、かつ有効な動物実験を実施するための講習。	動物実験委員会委員	通年	動物実験委員会、学術・社会連携室学術・社会連携部研究支援G	Moodle上で動画を視聴後、確認テストに合格することで受講を認める。
	3-2-1		遺伝子組換え生物等使用実験安全講習会	1	RC1	遺伝子組換え生物等使用実験と、それを規制するカルタヘナ法について最低限の知識と遵守すべき事項等を学び、適切で安全な遺伝子組換え等使用実験を実施するための講習。	組換えDNA実験安全委員会委員	通年	組換えDNA実験安全委員会、学術・社会連携室学術・社会連携部研究支援G	Moodle上で動画を視聴後、確認テストに合格することで受講を認める。
	3-2-1		機器使用に関する講習・セミナー	1.5	RC1	機器、ソフトウェア等の新規購入時に、操作法、および安全確保について利用者に周知徹底することを目的とする。	本学担当教職員	通年	自然科学研究支援開発センター	動画・関連資料等を視聴後、レポートを提出することで受講を認める。
	3-2-2		研究倫理教育FD	1.5	RC1	研究倫理の内容と重要性について理解し、本学の関連する規則を知っている。	学術・社会連携室	通年	学術・社会連携室学術・社会連携部研究支援G	moodle内で資料を基に動画を視聴し、確認テストに合格することで受講を認める。
	3-3-1		研究費獲得研修	1.5	RC2	科研費、共同研究等外部資金の獲得方法及び外部資金を使った研究活動の進め方を理解する。	外部講師、本学教員他	7月～8月	未来共創科学研究本部	オンライン開催または動画を視聴後、レポートを提出することで受講を認める。
	3-3-2		英語論文ライティングセミナー	1.5	RC2	英語による論文執筆のスキルアップを目的とする。また、論文成果発信のためのインパクトのある書き方について学ぶ。	外部講師、本学教員	未定	未来共創科学研究本部、図書館	オンラインと対面の併用で開催
	3-3-2		産学連携セミナー	1.5	RC2	本学の産学連携に関する制度や必要な手続き、留意すべき点について解説等を行う。	副学長（産学連携担当）、副理事（産学連携担当）	通年	学術・社会連携室オープンイノベーション本部産学連携部	動画を視聴後、レポートを提出することで受講を認める。

※開催時期が未定のものについては、開催時期が決まり次第、「いろは」に掲載しますので、ご確認ください。

※「時間数」欄は実施予定時間数（目安）を表しています。